

中芸高だめり

平成26年度
第5号



平成二十六年中芸高校卒業式

三月一日(日)、平成二十六年卒業式が昼間部・夜間部合同で挙行政され、昼間部十五名、夜間部五名、合わせて十九名の生徒が巣立っていきました。

式では、ホーム主任に名前を呼ばれた生徒が一人ひとり登壇し、学校長から卒業証書を授与されました。続く式辞では、「器用」という言葉に触れ、「『自分は不器用かもしれない』と思う時、人は工夫し、努力するようになる。また不器用で苦労する人の気持ちがわかるので、具体的に思いやりのあるアドバイスができる。『不器用であること』を強みにして心構えをし、その経験を育てて欲しい」と、激励の言葉が贈られました。

その後、生徒会長の有岡雅史君が、三年生との思い出を振り返り、「壁にぶつかったことも含めて決して無駄なことではない、人は成功を自信に、失敗を次の糧に変えて強くすることができる。多くの経験は、この先の未来への架け橋となるでしょう。」と送辞を述べました。答辞では卒業生を代表して、近藤和希くんが、周囲の人に支えられながら目標に向かって「継続は力なり」で頑張ってきた経験を述べて、「夢を持ち努力することを諦めない」こと、また「自分の気持ちに正直に、後悔しない道を選ぶ」ことの大切さを、後輩たちに語り掛けました。続いて夜間部の井上寛太くんが、様々な年齢層の生徒が共に学ぶ中で人との関わりを積み、挫折を乗り越えてきた経験から、「悩む自分を誇り、しかし立ち止まらず歩んでください」と答辞を述べました。

初めての昼夜合同卒業式でしたが、同じ校舎で学んだ思い出を共有しながら、旅立ちの時を迎えることができました。

式典終了後は昼間部と夜間部それぞれの送る会です。昼間部は、生徒会主催によるスライド上映が行われ、三年間の思い出を、笑いと涙で懐かしく振り返りました。くす球から現れた、後輩からのメッセージは、「困難を乗り越え、努力して克服すれば快い青空が望める」といを込めて『雲外蒼天』。一・二年生がクラスごとに工夫を凝らして飾りつけやプレゼントを準備した教室で、最後のホームを共に過ごし、学び舎を後にしました。御列席いただきました来賓の方々に、この場を借りて御礼申し上げます。また、この日を待ち望まれていた保護者の皆様、本当におめでとうございました。

新しい未来に向かって力強く歩み始めた卒業生たちの今後の活躍に、心から声援を送りたいと思います。



卒業生一同



3H



2H



1H

Safety for Everyone ~すべての人の安全をめざして~

三月六日(金)、本田技研工業株式会社の安全運転普及本部、鈴鹿普及プロックより、安田徳生氏、高崎博行氏を講師にお迎えしての講義と、本校教員指導による実技の二部にわたって、交通安全教室を実施しました。

まず講話では、
*人が従うべき規則「ルール」と、人に對して思いやる心「マナー」が重要。
*新しくなった道路交通法の再確認。
*年代別自転車事故の負傷者は高校生が突出して多い。

*万が一加害者になってしまった場合の補償額の大きさ。等を学びました。
時間と気持ちに余裕を持つために「事故を未然に防ぐには10分が大切」ということを肝に銘じました。

二時間目は、「八の字走行」と「反応・回避走行」の体験でした。ルールを守り、自分の身を守ることを、そして周りへの思いやりのある運転について、自転車を利用する者としての責任を、改めて感じたことと思います。



プレゼンフェスタ

二月八日(日)追手前高校芸術ホールにおいて、県下十一校、十三チームの高校生が参加し、「伝えたいことがあるんだ」をテーマに、プレゼンテーション力を競い合う大会が開催されました。

本校から出場した二年の有岡雅史君、小松愛璃さん、手嶋唯さんの三名は、「安田町くす食と自然に育まれた町」と題し、中芸学で学んだ町の魅力を発表してきました。動画が作動しないというトラブルにもアドリブで対応し、緊張の中にも達成感のある発表となりました。

本校は毎年フェスタにエントリーし、意欲的な取り組みを進めています。今後のプレゼン力の向上に期待したいと思います。



就職ガイダンス

三月九日(月)、田野町ふれあいセンターイベントホールにおいて、およそ六時間にわたり、労働局主催の就職ガイダンスを一・二年次生合同で受講しました。講師は「東京リーガルマインド」から、藤原奈緒美さん、津野裕子さん、藤原静さんの三氏をお迎えし、講話やコミュニケーション活動、自己PRの作成、模擬面接等で指導いただきました。

第一印象の大切さが強調され、日頃の習慣が出てしまいがちな立ち居振る舞いに気を配ること等、就職に向けての心構えや、身につけておくべきこと、基本的なマナーについて、時には厳しい指摘を受けながら講習会が続きました。

大人しく自己表現の苦手な生徒たちには、緊張の続く集団での面接練習など、ハードルの高い課題も多く出されましたが、謙虚に学ぶ姿勢は、講師の先生にも評価いただき、一日のガイダンスを終えてその成長の跡を感じることができました。



三年間お世話になった話になったAL TのAndrew先生が四月にはカナダに帰国されることになり、心

Thank you so much, Andrew sensei.

Chugei High School
After three very fast years, I am on my way back to Canada.
Before I go, however, I would like to thank all of you for your kindness and patience with me.
Coming to Japan was a big adventure for me. Three years ago I was very scared and nervous.
However, thanks to you, Kochi now feels like my home.
From the bottom of my heart, thank you.
You have truly provided me with a wonderful experience.
Best of luck in your futures.

Andrew.

